



平成 16 年度 岩手県汚水処理人口普及率の状況

このほど平成16年度末の汚水処理人口普及率がまとまりました。その結果、岩手県は62.3%、対前年度比3.1%増となりました。その内訳は下水道人口普及率が44.1%、農業集落排水人口普及率が6.5%、漁業集落排水人口普及率が0.9%、浄化槽人口普及率が9.6%で、87万166人の方が汚水処理施設を既使用若しくは使えるようになりました。

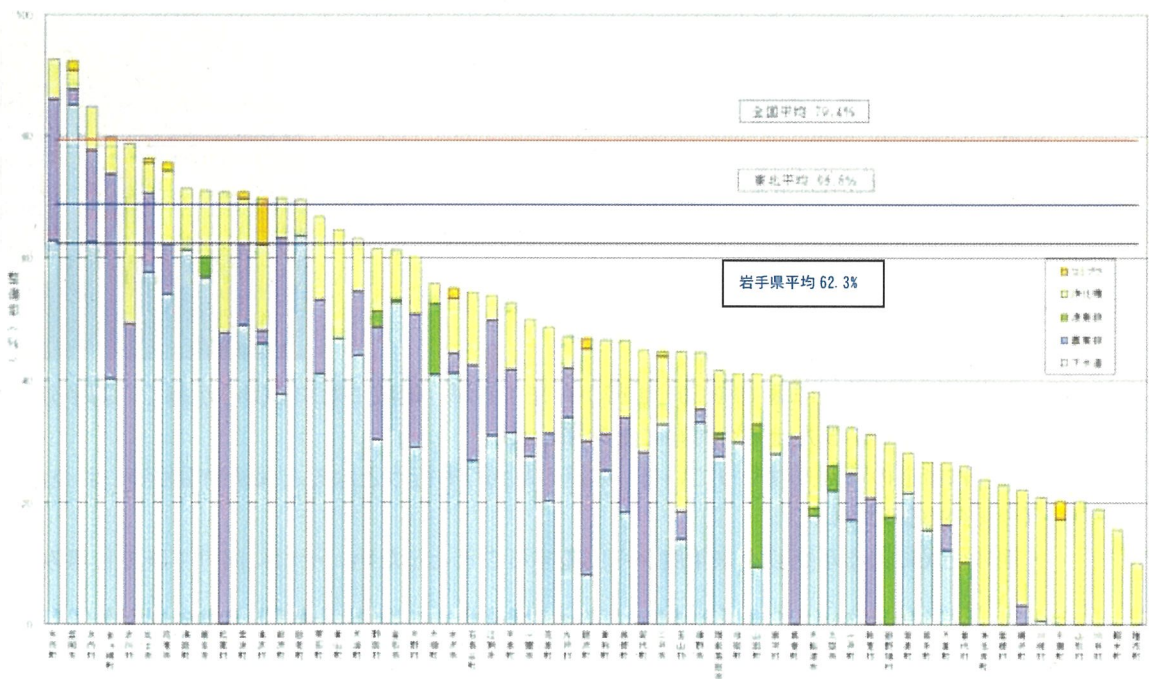
最も整備が進んでいる地域は矢巾町の92.5%で、次いで盛岡市の92.4%、沢内村の84.6%、金ヶ崎町の79.8%、衣川村の78.8%の順となっています。

また、対前年度比で最も伸びが大きい市町村は、西根町の16.3%で寺田地区農業集落排水が供用したためです。次に大槌町の15.6%で漁業集落排水吉里吉里地区が供用開始したことによるものです。

一方、水洗化率は汚水処理全体で82.9%（整備人口に対して）、下水道は80.9%、農業集落排水は72.6%、漁業集落排水は54.9%となっている。

平成16年度末の汚水処理人口普及率は計画62.7%に対し実績62.3%と初めて計画を下回りました。平成22年度80%の目標達成が厳しい状況にあります。コスト縮減を含めた様々な対策に取り組んでいきます。

県内市町村の汚水処理人口普及状況（H16年度末）



9月10日は「下水道の日」です！！

多くの人に下水道をもっと良く知ってもらうために「下水道の日」を定め、毎年全国各地でいろいろなイベントを行っています。

財団法人下水道公社では、9月10日（土）都南浄化センター（盛岡市東見前3の10の2）と北上浄化センター（北上市相去町岩の眼3）の2会場において「下水道フェスタ'05」を開催します。下水処理場見学会や体験コーナー、楽しいゲーム、さんざ踊りや民謡太鼓の実演などいろいろ用意しみなさんのお越しをお待ちしております。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0612/festa/festa.htm>

